

「富富富」情報(第4号)

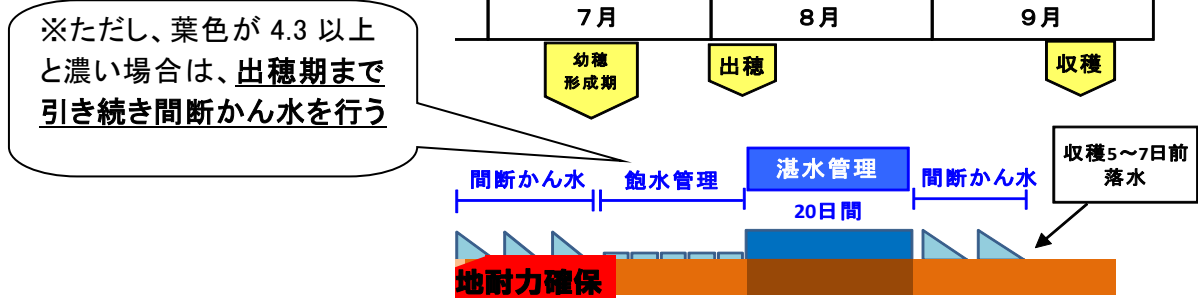
水管理と病害虫防除の励行で高品質な米に仕上げましょう！

「富富富」の生育は、概ね順調で、7月13日に幼穂形成期を迎えました。
今後、平年並みの気温で推移した場合、出穂期は8月2日頃と見込まれます。

1 水管理

幼穂形成期後は、**飽水管理**により根や稲体の健全化に努めてください。特に、当面、高温になることが予報されているので、田面が乾きすぎないように注意してください。

出穂期以降 20 日間は湛水管理を徹底してください。



2 穂肥施用 ～適切に穂肥を施用し、穂揃期の葉色を 4.5 に誘導！～

【肥効調節型基肥栽培】

高温でも品質低下しにくく、葉色が濃くなりやすいことから、原則、追加穂肥は施用しないください。

ただし、幼穂形成期の 10～12 日後(7 月末頃)の群落葉色が 4.2 未満の場合は、ただちに追肥 3 号 7kg/10a 程度の追加穂肥を行いましょう。

【分施肥栽培】

2 回目は、1 回目の 5～7 日後に追肥 3 号 10kg/10a を施用してください。

ただし、2 回目穂肥を施用する時期の群落葉色が 4.2 未満の場合は、穂肥量を追肥 3 号 13kg/10a に増やしましょう。

3 病害虫防除

カメムシ多発しており、防除を徹底しましょう。

生育期間を通しての化学合成農薬の**成分使用回数**が 12 以内となるか、必ず確認してください。

防除時期(8/2 出穂)	薬剤名	成分数	主な対象病害虫
穂揃期(8/4～6)	ラブサイドキラップ粉剤 DL/フロアブル	2	いもち病、カメムシ類
傾穂期(8/11～13)	スタークル粉剤 DL/液剤	1	カメムシ類

4 異品種の抜き取り等

定期的にはほ場を見回り、漏生稲や異形株は確実に抜き取ってください。



※抜き取った漏生稲は、搬入口・看板横等に集めて置いてください。
(「富富富」作付拡大支援事業の実施状況の確認のため)